

平成24年 代表者研修会・新年祝賀会

日時 平成24年1月26日(木)

場所 ホテル日航大阪 4階「孔雀の間」、5階「鶴の間」にて

《代表者研修会》

「昨年1年間の業界の動きについて『レジャー白書2010』によると市場規模は6年連続で前年実績を下回っています。一方、参加人口は低貸玉営業の普及により2年連続で増加しておりますが、稼働率が低下し、1台当りの売上が大きく落ち込んでいる状況がうかがわれます。
中古遊技機の稼働実績は1件あたりの台数が更に小口化が進んでおります。一昨年にも増して厳しい経営環境下におかれた1年であったと思います。中古遊技機流通について携わる組合員様一人一人が原点に立ち返って危機感を持って取り組んで頂きたいと思います。」



和久田理事長



兵庫県警察本部生活安全部
警視正 甚田郁雄 様

「不正があった場合、それが一部の業者によるものであっても全体に影響を及ぼし、規制は厳しくなっていく。
ただ、遊技業界における規制とは、遊技業界を保護するために存在しており、中古遊技機流通制度は、いわば公安委員会が皆さんを信用して任せているもの。
それを絶対に忘れないようにしてほしい。」

*代表者研修会には115社の皆さんがご参加くださいました。



ご参加いただいた組合員の皆様

《新年祝賀会》



和久田理事長のご挨拶



「昨年を振り返りますと私たち遊技業界におきましても取り巻く環境は一段と厳しく、15年連続で店舗数は減少し、大型店が増加する一方繁盛店と疲弊店との格差、都市と地方の格差が広がる傾向に歯止めがかかりません。

また、今年で12年目を迎える中古遊技機流通であります。昨年は関係団体にも多大なご迷惑をおかけした、当組合員による不正事案が発覚しました。

本年度は、不正防止対策、適正な流通への取り組みはもとより、この制度の根幹をなす“取扱主任者の点検確認作業の確実な実施”を徹底させるべく、取扱主任者講習の内容を見直し、顔認証システムによる作業実績記録の導入を推進することにより、安心してご使用いただける中古遊技機の提供に努めて参る所存です。

日本の置かれている状況と同じく、私たち業界の置かれている今を転換期と捉えるなら、業界全体の“つながり・絆”を強化し、力を合わせ、今まで手付かずになっていた問題を先送りせず、一つ一つ着実に取り組むことだと思います。

そして、“気軽に、楽しく、安心して遊べる環境”をファンの方々に提供し、ファンとの“絆”を再構築することにより、大衆娯楽を復興することではないかと考えております。

当組合といたしましても、ご来賓の皆様はじめ、組合員の皆様との“絆”を深め、一つ一つの課題に積極的に取り組んで参る所存ですので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご繁栄を心よりご祈念申し上げ、“昇龍新年”のご挨拶とさせていただきます。」



奈良県遊技業協同組合 相羽理事長様による乾杯のご発声



大阪府遊技業協同組合 河本副理事長様によるご挨拶



祝賀会の風景



加藤専務理事による中締め挨拶

ご来賓者

大阪府遊技業協同組合	副理事長 事務局長	河本 勝弘 様 高木 洋 様
兵庫県遊技業協同組合	専務理事 事務局長	堀尾 壽典 様 関 士郎 様
京都府遊技業協同組合	専務理事 事務局長	荻野 有季 様 山本 俊憲 様
奈良県遊技業協同組合	理事長 専務理事	相羽 宗一郎 様 下村 優 様
滋賀県遊技業協同組合	理事長 専務理事	古川 照雄 様 磧 秀行 様
(社)日本遊技関連事業協会近畿支部	支部長 事務所長	福井 章 様 河村 美三 様
大阪府中小企業団体中央会	連携支援部 主幹	足立 一平 様
関西遊技機商業協同組合 顧問弁護士	弁護士	藤原 弘朗 様
関西遊技機商業協同組合 顧問税理士	税理士	坂本 幹雄 様